

◆商工業振興

町内の小規模事業者の事業継続支援として、引き続き、国・県の各種助成制度などを活用し、新規事業や販路拡大等に取り組み事業者の支援を行ってまいります。

エネルギー・食料品価格の物価高騰対策として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、プレミアム付き商品券発行事業に取り組み、町民生活と町内消費の下支えに努めてまいります。

また、旧ごうぎん横田出張所を「コワーキングスペース」及び「フリースペース」を併設したサテライトオフィスとして整備を進めてまいります。

この施設は町内の高校生・中学生の自学スペース、リモートワークなどビジネスで利用していただくほか、子育て世代の憩いの場やイベント広場としての活用を進めてまいります。

◆雇用対策・人材確保

人手・人材不足は、町内企業が抱える大きな問題であることから、令和7年度から新規事業として「奥出雲ジョブサポート事業」に取り組んでまいります。

企業間での情報共有の場づくり、学生たちの町内企業訪問、求職者への情報配信などを行うため、町独自での「雇用対策協議会」を官民一体となって立ち上げ、企業の採用力の向上を図り、町内の人材確保を進めてまいります。

また、去る2月8日に開催しました合同企業説明会については、令和5年度は5割の採用率でありましたが、令和6年度は横田高校生の参加もあり、

充実した説明会を行うことができました。

林業分野での人材確保については、仁多郡森林組合において、本年1月に1名を新たに雇用され、4月からは島根県立農林大学の卒業生1名、地域おこし協力隊1名の新規採用が決定しています。

医療介護分野における人材確保については、外国人材監理団体等の人材斡旋事業者を通じた人材確保に係る費用の一部助成を令和6年度から実施しています。また、既に雇用されている職員に対して、必要な資格取得を目的とした専修機関等へ就学させるための費用についても一部助成を実施しています。

建設土木分野における人材確保については、令和5年度から建設業人材確保対策奨励金事業を実施しています。令和5年度4名、令和6年度3名の申請があったところです。

町のインフラ整備・維持の基盤となる建設業従事者の人材確保は重要な課題であり、令和7年度についても事業を継続し、建設業協会とも連携を図り、建設事業者の人材確保を支援してまいります。

引き続き、町内の産業、医療介護事業が維持できるよう、人材確保支援に取り組んでまいります。

◆観光振興

令和6年の奥出雲町への観光入り込み客数は、76万3千人となり、令和5年の92万7千人から大きく減少したところです。主な要因としては、TBS日曜劇場「VIVANT」の放送が終了し、ロケ地めぐりでの観光施設等への

入り込み客が落ち着いた事や、トロッコ列車おろち号の運行終了などが考えられます。

昨年の「観光列車あめつち」の平均利用率は約7割であり、本年は3月23日から運行が開始されることとなっています。

また、日本遺産「出雲國たたら風土

記」鉄づくり千年が生んだ物語」は平成28年の認定から10年目を迎え、本年は認定更新の時期となっており、これまで、鉄の道文化圏推進協議会を中心に関係自治体で「たたら」関連施設や構成文化財を活用した観光振興に取り組んできた成果を評価されることとなっています。認定更新に向け引き続き取り組みを進めてまいります。

「安心して暮らせる生活基盤の確保とまちづくり」

◆消防防災

避難行動の際に活用するハザードマップについて、これまで奥出雲町におきましては、河川から溢れた水により浸水の発生が想定される浸水想定区域の指定はありませんでしたが、近年は集中豪雨等による水害が頻発しており、短時間で河川が増水し、堤防が決壊して甚大な被害が発生する事例も増えてきています。洪水時の被害を最小限にするためには、平時より水害リスクを認識したうえで、氾濫時の危険箇所や避難場所についての正確な情報を知っていただくことが重要となってきました。

このようなことから、島根県において浸水想定区域の見直しが実施された

ころであり、この見直しにより、本町においても浸水想定区域の指定がなされることから、これまでの土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域に併せて浸水想定区域も含んだ新たなハザードマップを作成し全世帯に対して配布することとしています。

◆空き校舎活用

4月より高尾小学校が三成小学校に、八川、馬木小学校が新横田小学校に統合され、新たに3校が空き校舎となります。また、令和8年度には仁多地域の4校が仁多小学校へ統合され、多くの空き校舎が生まれる状況にあります。

八川小学校は、4月より島根デザイン専門学校のキャンパスとして利用いただきますが、この他の小学校についても、各地区の自治会長会や地区振興協議会等にお伺いし、行政での利用、地区での利用、民間での利用など、地域の皆様と施設のあり方について協議させていただきます。

小学校は各地区の皆様にとっても愛着ある施設ですので、地区の維持・発展に貢献できる施設として活用できるよう、民間公募も含めた活用策を検討していくとともに、活用が困難な施設については、解体も視野に検討してまいります。

◆住民参加のまちづくり

令和6年度は「住民提案型きらり輝く地域づくり事業」の拡充により、企業や大学卒を新設し、本町をフィールドとして、これまでとは異なる角度、広い視野で「関係人口の創出・拡大」、「奥出雲町の地域課題解決」、「地域活性

化」に取り組んでいただきました。

令和7年度は、5年以上前に採択となった事業で、現在も実施されている事業についても、更にブラッシュアップされる事業については交付対象とし、住民の皆様のきらり輝く特色ある地域づくりを支援してまいります。

次に、シティブロモーションについて、令和5年度より採用3年目までの役場職員を対象に「ルーキーズプロジェクト」を立ち上げ、インスタグラムのフォロー拡大を目的に、インスタグラムへの定期的な投稿、新規企画の立案実施を行っています。

令和6年度は、3つの企画を立案し、新規企画等の効果により、フォロー数は6,000人を突破し、県内市町村の公式インスタグラムではトップクラスとなっています。引き続き若手職員の柔軟なアイデアを施策に活かすとともに、情報発信と人材の育成に努めてまいります。

「奥出雲の暮らしが幸せだと実感できる生活環境づくり」

◆奥出雲病院

定員を10床増床し60床とした奥出雲病院の介護医療院については、2月末までに奥出雲介護老人保健施設からの入所希望者11名を受け入れました。今後不安定的に利用者を受け入れつつ、利用者に寄り添い、心の通ったサービスを提供し、地域の医療と介護に貢献してまいります。

また、今年2月から奥出雲病院では県内の医療機関では初めて、3階病棟51床を「地域包括医療病棟」に転換

しています。これまでの急性期治療に加え、リハビリテーション、栄養管理、退院支援、在宅復帰支援などの機能を強化充実し、質の高い医療、看護を提供するとともに、持続的な安定経営と発展に努めてまいります。

◆健康増進

「奥出雲町げんきプラン21第3期計画」及び「奥出雲町国民健康保険第3期データヘルス計画」に基づき、生活習慣病予防対策を基本として、健康寿命の延伸、事業所と連携した働き盛り世代の健康づくり、地域ぐるみでのこころと身体の健康づくりを推進してまいります。

高齢期における健康課題については、介護予防の推進や保健事業と介護予防事業の一体的な実施により、各世代とおし切れ目のない支援を行ってまいります。

また、歯と口の健康づくりについては、歯周病検診が受診できる医療機関と対象年齢の拡充など、検診受診体制の整備を図ります。

带状疱疹ワクチンについては、予防接種法の改正により、令和7年度から定期接種の該当となります。これに基づき、65歳の方を対象に定期接種を実施し、接種費用については一部を助成します。なお、経過措置として、5年間は66歳以上の方も助成対象となりますので、带状疱疹への罹患や带状疱疹後神経痛の発症等の病気の予防のため、希望される方は接種いただきたいと存じます。

◆介護福祉施策

地域包括ケア計画として位置づけら

れております雲南地域介護保険事業計画が令和6年度から3か年の第9期計画として開始しました。

この計画に基づき、中長期的な地域の人口動態や介護需要を踏まえて介護サービス基盤等を整備するとともに、介護予防や認知症施策の充実を図ってまいります。

令和7年度からは新たに、身体障害者手帳の交付対象とならない中等度難聴の高齢者に対し、補聴器の購入経費の一部助成を行い、早期の補聴器導入を支援し、積極的な社会参加を促すとともに認知機能低下の予防を図ってまいります。

◆障がい者福祉施策

令和5年度に策定しました「第7期障がい福祉計画・第3期障がい児福祉計画」に基づき、障がいのある方が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、適切な障害福祉サービスの提供に努めているところで

とりわけ、本町では障がい児に対する施策への要望が高いことから、町内において放課後等デイサービス事業を開始できるよう関係事業所と協議調整を行い、障がいのある児童や家族に対し、専門的な療育や相談支援が実施できるよう体制整備に努めてまいります。

また、障がいのある方の生活や福祉サービス利用に係る相談支援の充実を図るため、令和7年度から町内の相談支援事業所に基幹相談支援センター事業を委託し、総合的・専門的な相談支援の実施や相談支援体制の充実・強化に努めてまいります。

全ての行政分野で推進する

◆自治体DXの推進

お悔やみやごみの収集日などについて、アプリケーションソフトをダウンロードいただくことでスマートフォンなどの端末での視聴ができるようになります。お悔やみのほか、気象情報やテレビ番組案内など、様々な情報がご覧いただけます。今後も、町民の皆様の一ズに合わせた情報提供サービスの拡大を行ってまいります。

また、町の公式LINEでも町民の皆様へ様々な情報提供を行っていますので、併せてご登録をお願いいたします。

総括

地方創生はこれまでの優れた地域資源等を大切にしながらも、今後も住みやすく、次世代につなげることができるよう社会を変えていくことだと思っています。奥出雲町が持続的に発展していくため、自然、歴史、文化、人などの資源を最大限に活用しながら産学官金の連携や民間活力を導入し、新たな協働のまちづくりを推進してまいります。本町の財政は「層厳しい状況」にありますが、バランスの取れた行財政運営を行い、奥出雲町の明るい未来を開くため、私が掲げております「総力戦のまちづくり『奥出雲創生』」に町民の皆様方と一緒に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。